

平成 2 6 年

平成 2 7 年

平成 2 8 年

平成 2 9 年

平成 3 0 年

令和元年

令和2年

京都市観光振興計画2020（平成26年10月）

- ▶ **目指す姿**：世界があこがれる観光都市
- ▶ **取組期間**：平成26年10月～令和2年度
- ▶ **数値目標**：観光消費額1兆円 等（資料2-3参照）
- ▶ **事業数：191事業（着手率100%）**

【4つの柱】主な取組

（1）受入環境の整備（人づくり・まちづくり）		・フォーリンフレンドリータクシー実証実験開始（H28.3） ・宿泊施設拡充・誘致方針策定（H28.10） ・上質宿泊施設誘致制度の創設（H29.5） ・八条口駅前広場整備完成（H28.12） ・観光協会日本版DMO登録（H29.11）
・四条通歩道拡幅 完成（H27.10） ・免税相談窓口の設置（H26.6） ・京都市認定通訳ガイドの開始（第1期生募集開始 H27.12）		
（2）観光資源（コンテンツ）の充実（魅力の向上・誘致手法）		・京の冬の旅50周年（H28.1～3） ・東アジア文化都市2017京都（H29） ・大政奉還150周年記念プロジェクト（H29） ・琵琶湖疏水通船本格運航開始（H30.3） ・市美術館再オープン（R2.5⇒）
・琳派400年記念事業（H27） ・「ロームシアター京都」オープン（H28.1） ・朝観光・夜観光の情報発信 ・京の夏の旅40周年（H27.7～9） ・京都市動物園再整備（H27.11）		
（3）プロモーションの強化（魅力の発信・コミュニケーション）		・日本ラグジュアリートラベルアライアンスの発足（H28.4） ・ワンダーラスト1位（H29.30, R2）
・トラベルアンドレジャー「ワールドベストシティ」8年連続ベスト10入り（H24～R1）		
（4）MICE受入れの推進（MICE戦略）		・助成金制度の充実・改訂（H27.4～） ・海外商談会への市内事業者との共同出展（H29.5） ・国際会館ニューホール（H30.10） ・伝統産業製品貸出制度創設、京都らしいエクスカージョンガイド創設（H31.3）
・コンベンションビューロー体制6名（H27.4）→18名（R2.4）		

【計画策定後の課題】

- 外国人観光客の急激な増加とマナー問題
- 無許可民泊施設が増加
- 観光客の集中と混雑
- 国内観光地間の競合激化
- 観光の経済効果が広く行き渡っていない
- 伝統産業・伝統文化等の振興につなげる仕組みが不十分
- 観光客が興味・魅力に十分触れられていない
- 観光業やサービス業を支える担い手が不足

京都市観光振興計画2020⁺¹（平成30年5月）

- ▶ **目指す姿**：持続可能で満足度の高い国際文化観光都市
- ▶ **取組期間**：平成30年5月～令和2年度
- ▶ **追加事業数 27事業（着手率100%）**

【3つの課題】

- ①市民生活と観光の調和
- ②国内観光客の維持・外国人観光客の充実
- ③担い手の確保と育成

▶主な取組内容

- 1 市民生活の豊かさの実現とおもてなし向上
- 2 市民と観光客の安心・安全の確保
- 3 国内外観光客へ質の高い観光の提供
- 4 マーケティングの強化
- 5 京都の観光を支える担い手の確保と育成
- 6 観光振興推進体制の強化

「市民生活と調和した持続可能な観光都市」の実現に向けた基本指針と具体的方策

（令和元年11月）※参考1

- ▶ **目指す姿**：市民の安心・安全、地域文化の継承を最重要視した市民生活と観光の調和
- ▶ **充実・強化する取組 事業数：50事業（着手率76%）**

【混雑への対応】

- ・観光快適度への見える化による分散化事業の拡大
- ・市バス各種割引乗車券の抜本的見直し
- ▶ **【宿泊施設の急増に伴う課題への対応】**
- ・市民の安心・安全を重要視しない宿泊施設お断り
- ・地域活性化に取り組み宿泊施設の支援
- ▶ **【観光客のマナー違反への対応】**
- ・祇園実証事業を踏まえた効果的な取組の展開

市民の豊かさ・市民の共感の輪の拡大

- ・京都観光総合調査における市民意識調査の実施

●国連 観光・文化京都会議2019 ※参考 3

- ・日程 令和元年12月12日～13日
- ・参加者 各国の観光・文化大臣等（約70箇国）
- ▶ **<観光・文化京都宣言>**

▶京都モデルの推進

- 1 「文化」と「地域コミュニティ」を大切に育てるまちづくり
 - 2 観光課題「解決」先進都市・京都
 - 3 担い手の育成
- ▶ **行動規範の構築**

第1回京都市観光振興審議会（令和2年8月）

次期観光振興計画策定（令和3年）

- ・訪日観光客の増加（国のR2訪日外客数の目標上方修正 2,000万人⇒4,000万人）・混雑やマナー問題、民泊問題の発生

環境の変化

宿泊政策

- ・民泊PT設置（H27.12）
- ・民泊通報・相談窓口設置（H28.7）
- ・「民泊」の適正な運営等に関する宿泊事業及び旅館業事業に係る本市独自のルール施行（H30.3～、6～）
- ・地域協働・高齢型宿泊施設促進制度の創設（R1.7）
- ・簡易宿所の管理者原則常駐義務化（R2.4）
- ・上質宿泊施設誘致制度創設（H29.5）
- ・宿泊税制度の創設・徴収開始（H30.10）

- ・文化庁の京都への全面的移転決定（H28.3）
- ・梅小路京都駅西口開業（R1.3）
- ・ラグビーW杯（R1.9）
- ・調PT設置（R1.5）
- ・VMC関西（R3.5）
- ・消費増税（R1.10）
- ・東京オリ・パラ（R3）

災害等の発生
国際情勢

- ・熊本地震（H28.4）
- ・九州豪雨（H29.7）
- ・大阪河内地震（H30.6）
- ・台風21号（関空閉鎖（H30.9）
- ・日韓関係悪化（R18～）
- ・西日本豪雨（H30.7）
- ・2018年猛暑（H30.7-8）
- ・新型コロナ（R2.1～）

●京都市観光振興計画2020策定後の主要数値

（※令和元年の観光消費額・宿泊客数・外国人宿泊客数は、調査手法の変更により、平成30年以前の数値とは単純比較できない。）

	平成 2 6 年	平成 2 7 年	平成 2 8 年	平成 2 9 年	平成 3 0 年	令和元年	計画策定時の目標値
観光消費額	7,626億円	9,704億円	1兆862億円	1兆1,268億円	1兆3,082億円	1兆2,367億円(※)	年間1兆円⇒1兆3,000億円
観光客数	5,564万人	5,684万人	5,522万人	5,362万人	5,275万人	5,352万人	—
宿泊客数	1,341万人	1,362万人	1,415万人	1,557万人	1,582万人	1,317万人(※)	—
外国人宿泊客数	183万人	316万人	319万人	353万人	450万人	380万人(※)	年間300万人
旅館業許可総施設数 （総客室数）※年度	1,002 (29,189室)	1,228 (29,786室)	2,043 (33,887室)	2,866 (38,419室)	3,614 (46,147室)	3,993 (53,471室)	—
コンベンション開催件数 の世界順位（ICCA基準）	54位	57位	44位	50位	41位	35位	35位

目標達成

目標達成

目標達成

目標達成